

コミュニティ・スクールだより

コミュニティ・スクールがスタートしました

***** 地域とともにある学校を目指して *****

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取り組みを進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

河北町では今年度から町内すべての小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入しました。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

コミュニティ・スクールに指定された学校には「学校運営協議会」が設置され、教育委員会から任命された地域住民や保護者・学識経験者などが、一定の権限と責任を持って学校運営に携わります。学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちを支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

《コミュニティ・スクールの主な3つの機能》

（１）校長が作成する学校運営の基本方針を承認する

学校運営協議会は、校長の作成する「学校運営の基本方針の承認」を通じて、育てたい子ども像や目指す学校像に関する学校運営のビジョンを共有します。保護者や地域住民等の意向を当該方針に反映させることで、地域住民等が校長とともに学校運営に責任を負っているという自覚と意識が高まるとともに、学校運営の最終責任者である校長を支え、学校を応援することができます。

（２）学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

学校運営協議会は、広く地域住民の意見を反映させる観点から、校長が作成する基本方針の承認にとどまらず、当該学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して主体的に意見を申し出ることができます。委員からは、子どもたちの教育や学校運営の当事者としての意見が得られ、学校だけでは気づくことができなかった学校の魅力や課題を共有することができます。

（３）教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができる。

学校運営協議会は、学校の課題解決や教育活動充実のために校内体制の整備充実を図る観点から、教職員の採用、その他の任用に関する事項について、直接、任命権者に対して意見を述べるすることができます。学校運営の基本方針を踏まえ、学校と学校運営協議会が実現しようとする教育目標に適った教職員の配置を求めるための重要な機能です。

第1回「学校運営協議会」が開催されました

今年度初めての学校運営協議会が6月28日（月）、河北中学校で開催されました。はじめに、河北町教育委員会の鈴木淳子学校教育課長から、10名の学校運営協議会委員に任命書が手渡されました。自己紹介の後、協議会の会長と副会長の選出が行われ、会長に細矢隆宣さん、副会長に大沼信一さんが選出されました。

協議では、はじめに河北中の鈴木校長から、現在の中学校の様子と今年度の学校経営方針についての説明があり、質疑応答の後、方針が承認されました。その後、「地域の子どもたちに期待すること」「子どもたちのために地域ができること」をテーマに話し合いが持たれ、それぞれの立場から活発な意見交換がなされました。今後も、学校運営協議会を通して育てたい子ども像や目指す学校像を共有し、学校と地域が一緒になって実効性のある取り組みを進めていきたいと思います。



地域の子どもたちに期待すること

- 将来河北町に住んでほしい。都会に行っても戻って来てほしい
- 河北から世界につながるように、インターネットの活用力をつける
- パワーや企画力を身につけてほしい
- 一人一人が自己責任を持てる人になる
- 具体的な将来の夢や目標を持つ
- 失敗経験が少ない、失敗を恐れないで挑戦する
- 自分たちで考えて、話し合う機会を持つ
- 地域を知り、自分ができることを考え、実践できる中学生になってほしい
- 様々な町の現状を知る、つかむ、気づく、考える経験をする

子どもたちのために地域ができること

- 部活動や地域活動の支援を行う
- 防災訓練に中学生も参加してもらう。消防団を活用する
- 職業講話や多様な大人の話を聞く機会をつくる
- 職業体験で終わりでなく、町内の事業所と長期的に関わる
- 企業と連携した探究型学習を企画する
- 子ども達が考えたことを採り上げる、認める、称える場を設定する
- 子どもたちが主体的に物事に取り組めるように見守る
- 考える習慣づくりのために情報の提供・説明・講話を行う
- 地域の伝統文化継承のために、その意義などを伝える



学校運営協議会委員の皆さまをご紹介します（敬称略、◎:会長 ○:副会長）

氏 名	役 職	氏 名	役 職
◎ 細矢 隆宣	河北中教育後援会会長	東海林健司	谷地西部小CS会長
○ 大沼 信一	河北中PTA参与	砂田 哲	北谷地小CS会長
茂木 健	河北中PTA参与	鈴木 和彦	河北中校長
森 健一	西里小CS会長	事務局	
田宮 忠和	溝延小CS会長	高橋 典子	河北中教頭
菅原美穂子	谷地中部小CS会長	佐藤 和之	河北中教務主任
三部 陽堂	谷地南部小CS会長	秋場 真奈	地域コーディネーター